児童に見られるつまずき

　乗法と除法を関係付けて考えることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　数図ブロックを具体物に見立てて、操作しながら説明し合う活動を通して、除数や被乗数、あまりの意味について理解を深める

指導事例集ｐ．５３

１　第３学年　余りのあるわり算（数と計算領域）

２　単元目標

・余りのあるわり算の問題に進んで取り組もうとする。　　　　　　　　　【関心・意欲・態度】

・わり算の意味に基づいて，余りのあるわり算の求め方を考えることができる。

また，わる数と余りの大きさの関係をとらえることができる。　　　　　　【数学的な考え方】

・余りのあるわり算ができ，場面に応じて余りを的確に処理することができる。　　　　【技能】

・余りのあるわり算の計算の仕方がわかる。　　　　　　　　　　　　　　　　　【知識・理解】

３　単元の内容

参考：単元について

　・復習と準備

**・包含除で余りのあるわり算の意味を理解する。**

　・余りは，いつもわる数より小さくなることを理解する。

　・等分除で余りのあるわり算の意味を理解し，計算や適用題を解く。

　・余りのあるわり算の答えの確かめをする。

　・余りを考えて解く問題をする。

４　本時の目標

　　等分除や包含除で余りのあるわり算の意味を理解し，計算を解くことができる。

５　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| 導入  展開  まとめ | １　問題文を読んで，立式する。    みかん１６こを，３人で同じ数ずつ分けます。  １６÷３  同じ数ずつ分ける余りが出るわり算の計算について考えよう。  ２　自力解決する。  　予想される児童の答え  A  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  ○  　　５袋できて１こあまる  B  ○  ○○○○○  ○○○○○  ○○○○○    ５こずつ３人に配れて１こあまる  参考：ノート  ３　本時のたしかめをする。  (１)　練習問題を考え，ペアで説明し合う。  　クッキーが２６こあります。  ㋐１袋に４こずつ入れると，何ふくろできて，何個余りますか。  ㋑６人に同じ数ずつ分けると，１人何個になって，何個余りますか。  (２)　学習を振り返る。 | ・掲示図や問題文から，前時までの学習を想起させ比べることで違いに考えさせる。  ・問題文からわり算の式で表されることをおさえ，立式させる。  参考：授業の様子  ・立式は出来ているので計算をさせ，求めた答えや余りがどのような意味をもつのか考えるよう指示する。  **・数図ブロックをみかんに見立て，具体的な場面を想起して，分ける操作をさせる。**  ・自分の考えが説明できるように，言葉や図を使ってノートにまとめさせる。  ・余りのみかん１個を３人で等分すればよいと考える児童に対しては，１個のみかんを分けたりしないことを伝える。  **・数図ブロックの操作の仕方が，前時とどう違うかを説明させることで，分け方の違いに気づかせたい。**  ・立式が同じでも，考え方が違うことを押さえる。  ・自力解決でノートに説明を書かせた後，ペアで数図ブロックを操作しながらお互いに説明させる。  参考：授業の様子  ◇包含除と等分除の意味の違いを理解して，余りのあるわり算ができる。　【数学的な考え方】  ・時間があれば，今日の学習についてノートに感想を書かせ，発表させる。 |